

## ■法要とは

仏式での本来の意味は、仏教において釈迦の教えを知ることですが、その後、法要などの仏教行事一般の事をいうようになりました。

日本では次第に追善供養の事を指すようになり。その後一般的に死者を弔う儀式を指すようになりました。神式での法要は「霊祭」といい、

キリスト式では「追悼ミサ」「記念祭」といわれています。

## ■亡くなってからの日数

百ヶ日忌までの日単位の法要の場合

亡くなった日を含めて数えるのが一般的です。※地域によっては、亡くなった日の前日から数える場合もあります。

## ■年忌法要の場合

一周忌は亡くなってから満1年目ですが、一周忌の翌年に営まれるのが三回忌で、これから3年目を迎えるという意味で三回忌と言います。

※例：三回忌は満2年、七回忌は満6年

## その他の法要

毎年の個人の命日（祥月命日）・お彼岸（春と秋）・お盆（7月・8月）などに、年忌法要に関係なく、個人や先祖を供養します。

## 忌中と喪中の期間

### 忌中

一般的には、亡くなった日から忌明け（四十九日）までを「忌中」と言います。

### 喪中

一般的には、一周忌までの期間を喪中といい、一周忌を終えると喪の期間もしゅうりょうします。

## ■四十九日までにしておくこと（忌明け法要）

### 1、本位牌の準備

葬儀の時に使った白木の位牌は、忌明け法要時に本位牌に取り替えます。本位牌には、戒名や命日を書き入れるため、早めに準備しておく必要があります。※浄土真宗では位牌を用いないため、法名軸を用意します。

### 2、仏壇・仏具の準備

自宅に仏壇がない場合は、忌明けまでに用意します。仏具は宗派によって異なります。また、すでに仏壇がある場合は、きれいに掃除・点検をしておきましょう。

### 3、料理・引き出物の準備

特にきまりはありませんが、参列者の出欠を確認し法要後のお料理、引き出物の手配をします。

## ■年忌法要の準備

### 1、日時を決める

法要を営む側、お寺さんや来ていただく方にも予定を考慮し早めに決めます。

### 2、法要の規模を決める

お客様の何人・場所・引き出物・お寺さんへのお布施・お供え物など。

### 3、案内状を出す

特に書式が決まっているわけではありません。心をこめて書けばいいのです。

## ■主要な法要スケジュール